

問 「親子三世代住める町」定住のための雇用対策は。

町長 今後参考にして考えていきたい

問 2040年問題について。人口減少に歯止めをかけるには。

町長 インターチェンジ横の開発など種蒔きをしています。少し時間を頂ければ思っております。

問 平成29年3月の高等学校卒業の地域別求人者数は、福岡地域で7,403人、北九州市地域で3,544人、筑後地域で2,756人です。筑豊地域は1,128人となっています。また全国の産業（3部門）別15歳以上就業者割合の推移は第一次産業が大正9年53.8%、平成17年5.1%、第二次産業は、鞍手町、筑豊地区に多い事業体ですが、大正9年、20%、平成17年25.9%、第三次産業は、大正9年、23.7%だったのですが、平成17年で67.3%と、雇用形態が大きく変わっているのです。第三次産業が如何にいま雇用を生み出しているかということをお考えますと、

鞍手町に第三次産業を誘致しなければ若者が流出し2040年問題の人口減少に、歯止めが効かないと思います。

町長 日本が高度成長し先進国に躍り出て第一次産業が減り第三次産業にシフトして行っているのに、鞍手町が追いついてないというのが現状だと思います。インターチェンジ横の開発など、いろいろと手を打っている状況です。そうなら

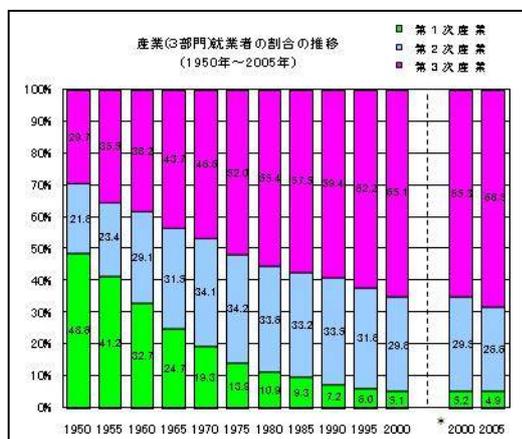
年次	就業者数（千人）				割合（%）			
	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業
大正9年2)	27,281	14,672	5,598	6,484	100.0	53.8	20.5	23.7
昭和5年2)	29,620	14,711	6,002	8,936	100.0	49.7	20.3	29.8
15年3)	32,483	14,392	8,443	9,429	100.0	44.3	26.0	29.8
25年4)	36,025	17,478	7,938	10,871	100.0	48.5	21.8	29.6
30年5)	39,580	16,291	9,247	14,051	100.0	41.1	23.4	35.5
35	44,042	14,389	12,804	16,841	100.0	32.7	29.1	38.2
40	47,960	11,857	15,115	20,969	100.0	24.7	31.5	43.7
45	52,593	10,146	17,897	24,511	100.0	19.3	34.0	46.6
50	58,141	7,947	18,106	27,521	100.0	13.8	34.1	51.8
55	55,811	6,102	18,787	30,911	100.0	10.9	33.6	55.4
60	58,357	5,412	19,334	33,444	100.0	9.3	33.1	57.3
平成2年	61,682	4,391	20,548	36,421	100.0	7.1	33.3	59.0
7	64,142	3,820	20,247	39,642	100.0	6.0	31.6	61.8
12	62,978	3,173	18,571	40,485	100.0	5.0	29.5	64.3
17	61,513	3,151	15,925	41,380	100.0	5.1	25.9	67.3

1) 「分類不能の産業」を含む。
 2) 全年齢の有業者数。
 3) 全年齢の有業者数。軍人・軍属及び一部の外国人を除く。
 4) 14歳以上就業者数。沖縄県の本土籍日本人及び外国人を除く。
 5) 沖縄県は14歳以上就業者数。

りますと、第三次産業、第二次産業等の雇用も増えるのではと、現在、一生懸命種蒔きをやっている状況です。

問 他の自治体で設置している商業施設等立地促進条例や雇用促進奨励金の制度等の制定する考えは。

町長 今後参考にして考えていきたい



問 若い世代の求職希望は第三次産業が多く、今後、鞍手町が進むべき道は、地元で働け「親子三世代住める町」を目指して頂きたいと思うが。

町長 雇用拡大となる色々な手腕があります。例えば、光回線があれば東京でなくても、インターネットで、プログラム等が出来るのではないかと、知恵を絞ればいろいろな分野の仕事が生み出せると思います。